



九州大学大学院農学研究院、大学院生物資源環境科学府及び農学部と大川市が協力協定を締結します

概要

今回の協定は、九州大学大学院農学研究院、大学院生物資源環境科学府及び農学部と福岡県大川市との間で締結するもので、九州大学の持つ知的資源と大川市の地域資源を有機的に結びつけ、農業、水産業、木工業、食品製造、環境、教育などの分野における市の課題を解決するとともに本学の学術研究及び教育の進展に寄与することを目的とするものです。

背景

大学の有する知的資源と、大川市の有する地域資源を有機的に結び付けることにより本学大学院農学研究院、大学院生物資源環境科学府及び農学部の教育と学術研究の進展を図るとともに、大川市における農業、水産業、木工業、食品製造、環境、教育などに関わる地域的課題解決を図ることを目的とするものです。

なお、すでに本学と大川市との間では、大川市の中核産業である家具産業に関連して、輸入木材ではなく、地域で産出する木材を使用した家具や建物内装材への活用に係る研究、本学キャンパス内に残っている貴重な木材が使用された旧式木製家具類の修復・保存活動などを行っています。

内容

下記のとおり協定調印式を行います。

- (1)日 時：平成25年2月22日（金）午後3時00分～午後3時30分
- (2)場 所：九州大学農学部一号館 1階 小会議室
(福岡市東区箱崎6-10-1)
- (3)代表者：【九州大学】吉村 淳 大学院農学研究院長
【大川市】植木 光治 大川市長

【協定書の内容】

(1)事業

- ①大川市にある地域資源を本学の大学教育および学術研究の進展に活用
- ②大川市の農業、水産業、木工業、食品製造、環境、教育などの分野の発展のため、九州大学大学院農学研究院の持つ知的資源の活用
- ③その他、上記目的を達成のために有益と認める事項

(2)期間

締結日から5年間

効果

大川市では、木工業を始めとして農業、水産業、食品分野、自然環境や生活環境分野においても積極的な取組が行われています。今回の協力協定締結により、連携・交流のより一層の進展を図ることが可能となり、このような大川市の産業界や行政活動の活性化につながるとともに、農学研究院における様々な分野の技術シーズが、社会に貢献できる応用研究へと発展することが期待されます。

■今後の展開

今後は、地域木材を活用した用水路の護岸整備事業なども進めていく予定であり、新たな具体的個々の連携協力を両者の協議により実施し、より良い協力関係を発展させていきます。

【お問い合わせ】

農学部事務部 吉永

電話：092-642-2798

FAX：092-642-2804

Mail：noxjisomho@jimu.kyushu-u.ac.jp